

室内の裝飾

文學士 下田次郎氏談

▲居は氣を移す。諺に居は氣を移すと言ふ事があ
る、居室にそれ相應な裝飾を施すのは生活上は勿
論精神上の娛樂にも大に必要なる事である、今吾國
の居室と歐米諸國の居室とを比較して見ると、歐
米の室内裝飾は概して複雑でそして美術的の意匠
を凝らして居る、吾國のは如何かと言ふと至極簡
單で而も淡泊である殆んど裝飾と稱すべき程の物
は無い、是はもととも東西人種の慣習、趣味など
の相違から起るもので已むを得ない事ではある、
元來歐米人は美術と言ふ事に多大の興味を持つて
居て自然の美は言ふ迄もなく人爲的の美でも極め
て愛賞する、殊に其美術的思想を涵養する機關と
も言ふべき、立派な美術院などが出來て居るから
自然其智識、趣味などが非常に深くなつて來て、
それが室内の裝飾に迄も顯はれる事になるのであ
る。

▲私宅は小博物館。そして歐米の人間は模倣模寫
杯を好む風があるから是と言ふ大抵の事は模倣
模寫をして飾付けるそれに又旅行癖があるから其
途中で珍らしいと思つた物などはどん／＼土産に
購つて來る又銃獵などに出掛けた時でも其獲物
角の生へた大鹿の頭だとか或は鱒、虎など種
々の獲物を壁などに飾付けると言ふやうに學術上
の參考となるやうな物品は何でも蒐集し一種の誇
として居るから宛然小規模の博物館と言觀がある
▲多くなれば寄附。それから出獵と言つても極て大
仕掛けで吾國のやうに天城山の猪狩、熊狩或は小
鳥狩といふやうな豆鐵砲式の小さなものでない彼
の詰らぬ計音を傳へられた前合衆國大統領ルーズ
ベルト氏の南阿猛獸狩のやうに頗る大仕掛けのもの
である、従つて獲物も多いのであるから狭い室内
などは忽ちにして一杯になる一杯になれば彼等は
惜氣もなくドンドン博物館などへ寄附して了ふ。
▲手持無沙汰にならぬ。其から主婦の居室を見る
と又其整然たるのに驚く、中流以上の家では必ず
ピアノが備付てある、そして自分素より來客の

た
 爲め或は家庭の爲めなどに頗る快樂を興へて居る
 又一方には家庭文庫と言ふ一つの小圖書館めいた
 物が出来て居て所有書籍が列べてあるから來客が
 飽きると言ふ事は決して無い、そればかりでなく
 談中でも其書籍に依つて文學なり時事問題なり凡
 ての物の材料を供給されるから、批評或は意見の
 交換などばかりでも滾々として話の盡きると言ふ
 事が無い是等は全く高尚優美の設備とも言ふべき
 で、皆が皆まで手持無沙汰に成ると云ふ事がない
 のである何うか日本でも衣食住の歐化するに連れ
 斯ういふ美點は是非採りたいものである。
 ▲富の程度 纏つて吾國の、中流以上の主婦の居
 室はどうかと云ふと、成程ピアノだとか、オルガ
 ンだとか、或は書籍などの備付があるが、其はホ
 ンの飾物の過ぎない、そして話をするにしても、
 其多くは臺所向の事や、女中の品評などに定まつ
 てるやうである、よしや有つても、寥寥晨星の如
 きものだと思ふ、併し之は一體に吾國の富の程度
 が低いのであるから一概に歐米諸國に比肩しろ、
 と言ふ事は少し無理である。

▲家屋の構造 歐米に比べると家屋の構造、街路
 の幅員にしても、大きな違がある、まづ居室の構
 造から言ふと、一般に入口が低く且つ狭いから、
 外國人などが這入るには腰か頭を曲げなければ到
 底出入する事が出来ない、それから内部も天井は
 頭が叩へさうである、考へて見ると一つとして衛
 生的のものは無いやうである、唯障子丈が紙を使
 つてあるから、芥防げや、空氣の流通などには、
 幾分か宜ささうに思はれるだけで、第一坐はると
 言ふ事が、非常に害がある、脚部血液の循環を鈍
 くする、是はもう既に世人が認めて居る所である
 そればかりでなく、立働きと言ふ事に迄影響を及
 ぼして居る、坐つてるとチヨット立つのが、憶切
 になつて、自然物事に無性に成り易い、其所へ行
 くと椅子の方は、半身殆んど立つて居るやうなも
 のであるから立ち上ると言ふ時でもオインソレと身輕
 に立つ事が出来る。
 ▲屋家の身長 是は自分の想像に過ぎないが、日
 本人の丈の低いのは、天井の低い押潰ぶされさ
 うな家屋に、住んでるから、頭から壓迫されて、

伸びる事が出来ないのではあるまいかと思はれる
 歐米人の丈の高いのは、大厦高樓の内に起居して
 緩つたりとして居るから、自然氣持も鷹揚になる
 し、又丈が高くなるのでは有るまいか、自分は常
 も斯ふ言ふやうに思つてゐる、望むらくは吾國で
 も、可成家屋の建築などは、歐米風に倣つて室内
 には椅子、机などにして欲しい、佛國のステール
 婦人は斯う言つて居る「建築は凝結せる音樂なり」
 全く味ふべき言葉である、自分は獨逸へ遊學中、
 或る田舎の婆さんの所へ、下宿して居た事がある
 其田舎の百姓家とも言ふやうな一室でさへも、吾
 國の國務大臣秘書官室位の値打はある。
 ▲貧乏に慣れた國 數年來東京でも市區改正と言
 ふので頻に道路を擴げては居るが道路の幅と兩側
 の家屋とは全く不調和で、随分可笑しいやうであ
 る、これも段々と立派な者が出来るではあらうか
 今の處歐米諸國の觀光團が來ても、聊か氣ま
 りの悪い次第である、歐洲大陸の内でも、佛國から
 英國へ上陸して、汽車へ乗込むと、何となく英國
 の富有な國であると言ふ事が胸に浮んで來る、汽

車室でさへも實に立派なもので事々物々悉々完
 備して、一つとして眼を驚かせない物は無い、吾
 國では古から貧乏には慣れて居るから、何とも思
 はないであらうが今後は舉國一致、實踐躬行、列
 國に耻ない富有の國となつて、市區改正の道路に
 副ふやうな、大建築物に住居して、室内の裝飾に
 心目を樂しませるやうな、生活にして貰い度い
 である。

英國人の家庭

宮川壽美子氏談

▲私は、英國の健全な家庭を觀察して、如何に、
 家庭教育が、國民の氣風に多大の影響を及ぼすか
 と云ふ事を、しみじみと深く感じた一人で御座い
 ます。

▲御承知通り、日本の家庭では、親子が本位にな
 つて居りまして、凡ての禮儀作法道徳は是れから
 削り出されますが、英國では、夫婦が本位でござ